調節計 MODBUS SIO ドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	8
3	通信設定例	9
4	設定項目	65
5	結線図	70
6	使用可能デバイス	116
7	デバイスコードとアドレスコード	126
8	エラーメッセージ	127

はじめに

本書は表示器と接続機器(対象 PLC)を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



1 システム構成

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		CPU ユニット上 のポート	RS-232C	「設定例1」 (9ページ)	「結線図1」 (70ページ)
			RS-422/485 (2 線式)	「設定例2」 (11ページ)	「結線図 3」 (83 ページ)
			RS-422/485 (4 線式)	「設定例3」 (13ページ)	「結線図 2」 (72 ページ)
		CPU ユニット上 のポート	RS-232C	「設定例4」 (15ページ)	「結線図1」 (70ページ)
	DB2000000-000 2		RS-422/485 (2 線式)	「設定例 5」 (17 ページ)	「結線図 3」 (83 ページ)
			RS-422/485 (4 線式)	「設定例 6」 (19 ページ)	「結線図 2」 (72 ページ)
		CPU ユニット上 のポート	RS-232C	「設定例7」 (21ページ)	「結線図 1」 (70 ページ)
	KP1□□□C■□□-□□□ 1		RS-422/485 (2 線式)	「設定例 8」 (23 ページ)	「結線図 3」 (83 ページ)
			RS-422/485 (4 線式)	「設定例 9」 (25 ページ)	「結線図 2」 (72 ページ)
		CPU ユニット上 のポート	RS-232C	「設定例 10」 (27 ページ)	「結線図1」 (70ページ)
KP	KP2000000000000000000000000000000000000		RS-422/485 (2 線式)	「設定例 11」 (29 ページ)	「結線図 3」 (83 ページ)
			RS-422/485 (4 線式)	「設定例 12」 (31 ページ)	「結線図 2」 (72 ページ)
		CPU ユニット上 のポート	RS-232C	「設定例 13」 (33 ページ)	「結線図 1」 (70 ページ)
	KP3□0C□□■-□□□ ²		RS-422/485 (2 線式)	「設定例 14」 (35 ページ)	「結線図 3」 (83 ページ)
			RS-422/485 (4 線式)	「設定例 15」 (37 ページ)	「結線図 2」 (72 ページ)

次のページに続きます。

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
	LT23	CPU ユニット上 のポート	RS-422/485 (2 線式)	「設定例 16」 (39 ページ)	「結線図 3」 (83 ページ)
		CPU ユニット上 のポート	RS-232C	「設定例 17」 (41 ページ)	「結線図1」 (70ページ)
	LT3□□□□■□0-□□□ ¹		RS-422/485 (2 線式)	「設定例 18」 (43 ページ)	「結線図 3」 (83 ページ)
іт			RS-422/485 (4 線式)	「設定例 19」 (45 ページ)	「結線図 2」 (72 ページ)
			RS-232C	「設定例 20」 (47 ページ)	「結線図1」 (70ページ)
	$LT40000 \blacksquare 00-000$ $1 4$	CPU ユニット上 のポート	RS-422/485 (2 線式)	「設定例 21」 (49 ページ)	「結線図 3」 (83 ページ)
			RS-422/485 (4 線式)	「設定例 22」 (51 ページ)	「結線図 2」 (72 ページ)
	LT830	CPU ユニット上 のポート	RS-422/485 (2 線式)	「設定例 23」 (53 ページ)	「結線図 3」 (83 ページ)
	JUDDDDDDDD513 ⁶ JUDDDDDDDD613 ⁷	CPU ユニット上 のポート	RS-422/485 (2 線式)	「設定例 24」 (55 ページ)	「結線図 5」 (105 ページ)
JU	₩ 000000 00 8 9	設定通信ユニッ	RS-422/485 (2 線式)	「設定例 25」 (57 ページ)	「結線図 4」 (94 ページ)
		F	RS-422/485 (4 線式)	「設定例 26」 (59 ページ)	「結線図 2」 (72 ページ)
JW		設定通信ユニッ	RS-422/485 (2 線式)	「設定例 27」 (61 ページ)	「結線図 4」 (94 ページ)
3.44		F	RS-422/485 (4 線式)	「設定例 28」 (63 ページ)	「結線図 2」 (72 ページ)

1 CPUの型式で ■の部分が以下の記号の接続機器のみ使用できます。

R (RS-232C), A (RS-422A), S (RS-485)

- 2 CPUの型式で■の部分が以下の記号の接続機器のみ使用できます。 R(RS-232C) A(RS-422A) S(RS-485) B(RS-232C + RS-232C) C(RS-232C + RS-422A) D(RS-232C + RS-485) E(RS-485 + RS-232C)、F(RS-485 + RS-422A) G(RS-485 + RS-485)
- 3 CPU の型式で の部分が以下の記号の接続機器のみ使用できます。 S または 2 (RS-485)
- 4 表示器と通信させるためには、LT400 シリーズは製造番号 LT4037**** 以降のものを使用してくだ さい。製造番号 LT4036**** 以前のものを使用した場合はエラーが表示されます。
- 5 CPU の型式で の部分が以下の記号の接続機器のみ使用できます。 2(RS-485)
- 6 調節機能付き < ユニット間マスター > JU シリーズです。
- 7 調節機能無し<ユニット間スレーブ> JU シリーズです。 表示器と通信させるためには調節機能付き<ユニット間マスター> JU シリーズ (JUDDDDDDD513)を接続し、マスターとスレーブをユニット間通信させる必要があります。 ユニット間通信の方法については接続機器のマニュアルを参照してください。
- 8 CPUの型式で■の部分が以下の記号の接続機器のみ使用できます。
 3 または4(RS-422A、RS-485)
- 9 単相の JU シリーズです。

接続構成

1:1 接続



• 1:n 接続

最大接続台数16台



• 1:n 接続(調節機能付き JU シリーズの場合) マスターの最大接続台数は16台



IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

ミノリーブ	使用可能ポート			
	RS-232C	RS-422/485(4 線式)	RS-422/485(2 線式)	
PS-2000B	COM1 ¹ , COM2, COM3 ¹ , COM4	-	-	
PS-3450A、PS-3451A、 PS3000-BA、PS3001-BD	COM1, COM2 ¹ ²	COM2 ¹ ²	COM2 ¹ ²	
PS-3650A(T41 機種)、 PS-3651A(T41 機種)	COM1 ¹	-	-	
PS-3650A(T42 機種)、 PS-3651A(T42 機種)	COM1 ¹ ² , COM2	COM1 ¹ ²	COM1 ¹ ²	
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 ¹ COM2 ¹ COM3 ² COM4	COM3 ²	COM3 ²	
PS-3711A	COM1 ¹ , COM2 ²	COM2 ²	COM2 ²	
PS4000 ³	COM1、COM2	-	-	
PL3000	COM1 ¹ ² , COM2 ¹ , COM3, COM4	COM1 ¹ ²	COM1 ¹ ²	

1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、以下のように設定してください。

3 拡張スロットに搭載した COM ポートと接続機器を通信させる場合、通信方式は RS-232C の みサポートします。ただし、COM ポートの仕様上、ER(DTR/CTS) 制御はできません。 接続機器との接続には自作ケーブルを使用し、ピン番号 1、4、6、9 には何も接続しないで ください。ピン配列は IPC のマニュアルを参照してください。

ディップスイッチの設定:RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF ¹	予約(常時 OFF)	
2	OFF	海信士士・DS 2220	
3	OFF	也信力式 · K3-232C	
4	OFF	SD(TXD) の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA)とRDA(RXA)の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB) と RDB(RXB) の短絡:しない	
9	OFF	- RS(RTS) 自動制御モード:無効	
10	OFF		

1 PS-3450A、PS-3451A、PS3000-BA、PS3001-BD を使用する場合のみ設定値を ON にする 必要があります。 ディップスイッチの設定:RS-422/485(4線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	· () () () () () () () () () () () () ()	
3	ON	地后刀式, KS-422/483	
4	OFF	SD(TXD) の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	PS(PTS) 白動制御王 – ド・無効	
10	OFF	- KS(K13) 日動前面 モート・無効	

ディップスイッチの設定:RS-422/485(2線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	通信方式:RS-422/485	
3	ON		
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	ON	SDA(TXA)とRDA(RXA)の短絡:する	
8	ON	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:する	
9	ON	- RS(RTS) 自動制御モード:有効	
10	ON		

2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

GP-Pro 🛃	接続機器数	
		接続機器1
	メーカー	(株)チノー
	シリーズ	調節計 MODBUS SIO ▼
	ポート	COM1
		この接続機器のマニュアルを見る
		最近使った接続機器
		<u>/</u>
00	<u>□ 9254I</u>	<u>- 期帯接続マニュアルへ</u> リアを使用する

設定項目	設定内容
接続機器数	設定するシリーズ数を「1~4」で入力します。
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「(株)チノー」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「調節計 MODBUS SIO」を選択します。 「調節計 MODBUS SIO」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してください。 ^{CPP} 「1システム構成」(3ページ)
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。
システムエリアを使用 する	本ドライバでは使用できません。

3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

3.1 設定例1

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

概要			接続機器変
メーカー (株)チノー		シリーズ 調節計 MODBUS SIO	ポート COM1
文字列データモード	1 変更		
通信設定			
通信方式	 RS232C 	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/4	85(4線式)
通信速度	9600	-	
データ長	O 7	© 8	
パリティ	◎ なし	○ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット	● 1	C 2	
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト	3 :	(sec)	
リトライ	2 :		
送信ウェイト	10 🔆	(ms)	
RI / VCC	€ RI	C VCC	
RS232Cの場合、9	番ピンをRI(入力	(jするか <u>VCC(5</u> V電源供給)	
にするかを選択でき トを使用する場合(ほす。テジタル製 よ、VCCを選択し	RS232Cアイソレーションユニッ てください。	初期設定
機器別開定			
接続可能台数 1	16台 機	<u>景を追加</u>	
			間接機器
No. 機器名			追加
X 1 PLC1	1 DU-	ズ=DB1000シリーズ,局番号=1	\$

重要

• 送信ウェイトは 5ms 以上に設定してください。

機器設定

💣 個別機器設定		×
PLC1		
シリーズ	DB1000シリーズ	•
シリーズを変更し 認してください。	た場合は、すでに使用されてい	るアドレスを再確
局番号	1	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、シフトキー、ダウンキーお よびアップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン / アップキーを押して「MODE7」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキー、またはシフトキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	СОМ
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARCTER	8BIT/NON/STOP1

3.2 設定例 2

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1				
概要				<u>接続機器変更</u>
メーカー (株)チノー		シリーズ	調節計 MODBUS SIO	ボート COM1
文字列データモー	ド 1 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	C RS232C	RS422/485	2線式) 〇 RS422/485(4線式)
通信速度	9600	•		
データ長	C 7	© 8		
パリティ	◎ なし	○ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	I	○ 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/C	rs) C XON/XOFF	
タイムアウト	3 🗄	(sec)		
リトライ	2 🗄	Ε		
送信ウェイト	10 🗄	(ms)		
RI / VCC	© RI	C VCC		
RS232Cの場合、	9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電	源供給)	
しょうのかを選択()	ごさます。テンタル要 合は、VCCを選択し	2R52320アイソレーン してください。	/ヨンユニッ ネガ其肥会会	2
機器別設定				
接続可能台数	16台 機	器を追加		
	=九			間接機器
No. 機篩名	設定 		巳 兼吕_1	追加
i jrtoi	120°	-X-06100099-X.	/町世 5 - 1	*

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

機器設定

🏄 個別機器設定	
PLC1	
シリーズ	DB1000シリーズ
シリーズを変更 認してくだざい。	した場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 芸
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、シフトキー、ダウンキーお よびアップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン / アップキーを押して「MODE7」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキー、またはシフトキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	СОМ
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARCTER	8BIT/NON/STOP1

3.3 設定例 3

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

概要 メーカー「休みチノー」シリーズ「開節計 MODBUS SIO ポート COMI 文字列データモード 1 変更 通信設定 通信方式 PS232C PR5422/485(2線式) ● RS422/485(4線式) 通信速度 9600 ▼ データ長 C 7 € 8 パリティ ● なし ● 偶数 ● 奇数 ストップビット ● 1 ● 2 フロー制御 ● なし ● ER(DTR/CTS) ● XON/XOFF タイムアウト 3 至 (sec) リトライ 2 至 送信ウェイト 10 至 (ms) RL / VOC € PL € VOC RS22200 / HQL ***********************************
メーカー「休料チノー シリーズ (間節計 MODBUS SIO ボート COM1 文字列データモード 1 変更 通信放定 通信方式 RS232C RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式) 通信速度 9600 ▼ データ長 C 7 ● 8 パリティ ● なし ● 偶数 ● 奇数 ストッブビット 0 1 ● 2 フロー制御 ● なし ● ER(DTR/CTS) ● XON/XOFF タイムアウト 3 壹 (sec) リトライ 2 - 送信ウェイト 10 ・ アレックト 3 - ● YOC RS222con場合、9番ビンを取り、カリにするかいOC信い電源供給) ● 初期設定 ● パレマク・協力を支援用する。場合は、VOCを運用してくだだい。 ● ● パレマク・協力を支援用する。場合は、VOCを運用してくだだい。 ● ●
文字列データモード 1 変更 通信設定 通信決策 ●600 ▼ データ長 0.7 0.8 パツティ 0.なし 0.偶数 ●奇数 ストップビット 0.1 0.2 フロー制御 0.なし 0.ER(DTF/CTS) ● XON/X0FF タイムアウト 3 ≦ (sec) リトライ 2 ≦ 送信ウェイト 10 € (ms) RL/VOC 0.FL 0.VOC RS22200/ਸ਼ਿਰ, 9番 ビンをRI(入力)にするか.VOC(6)V電源(共給) にするがを選択できます。デジカ)型RS2320.Pr/ソレージョンユニッ を使用する。場合は、VOCを選択してください。 加期設定
通信設定 通信方式 PS232C PS422/485(2線式) PS422/485(4線式) 通信速度 9600 ▼ データ長 C 7 C 8 パリティ むなし 価級 奇数 ストップビット 1 C 2 フロー制御 むなし ER(DTR/CTS) O XON/XOFF タイムアウト 3 1 (sec) リトライ 2 1 送信ウェイト 10 1 (ms) RI/VOC C RI C VOC RS222Cの現合、9番ビンをRI(入力)にするか VOC 6V電源供給) にするがを選択できます。デジカル型RS232Cアイソレージョンニッ を使用する場合は、VOCを選択してたたい。 加期設定
i通信方式 PS232C PS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式) 通信速度 9600 ▼ データ長 C 7 € 8 パリティ ● なし ● 偶数 ● 奇数 ストップビット ● 1 ● 2 フロー制御 ● なし ● ER(DTR/CTS) ● XON/XOFF タイムアウト 3 至 (see) リトライ 2 至 送信ウェイト 10 至 (ms) RL/VOC € RL ● VOC RS22200/現合、9番ビンをRI(入力)にするか VOC6V電源供給) にするかを選択できます。デジの別型RS22207 イソレージョンユニッ を使用する。場合に、VOC6を選択してください。 和期間安定
通信速度 9600 データ長 C 7 データ長 C 7 パツティ ・ なし ・ なし ・ 偶数 ストッブビット ・ ・ なし ・ 偶数 ・ なし ・ 偶数 ・ なし ・ 個数 ・ なし ・ 個数 ・ なし ・ 日本 ・ なり ・ 日本 ・ なり ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
データ長 0.7 0.8 パリティ 0.なし 「偶数 ○ 奇数 ストップビット 0.1 2 フロー制御 0.なし ○ ER(DTR/CTS) ○ XON/XOFF タイムアウト 3 二 (sec) リトライ 2 三 送信ウェイト 10 二 (ms) RL/VCC C FI C VCC RS232Cの場合、9番ビッを取び入りにするがVOC650平原原供給) ござがか運行がり、別になるがOC650平原原供給合は、VOC6を選択してください。 初期設定
パツティ ・ なし ・ 偶数 ・ 奇数 ストップビット ・ 1 ・ 2 フロー制/御 ・ なし ・ ER(DTR/CTS) ・ XON/XOFF タイムアウト 3 ・
ストップビット ・1 ・2 フロー制御 ・なし ・ER(DTR/CTS) *XON/XOFF タイムアウト 3
フロー制御 ・ なし C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF タイムアウト 3 (sec) リトライ 2 (sec) リトライ 10 (ms) RI / VOC C RI C VOC RS232C0/現合、9番ビンをRI(入力)にするかVOC6V電源供給) (c するかを選択できます。デジカ)利料S2C0アイソレージョンユニットを使用する場合は、VOOを選択してくだとい。 初期設定
タイムアウト 3 (sec) リトライ 2 (sec) リトライ 2 (sec) 送信ウェイト 10 (ms) RI/VOC FRI (CVCC) RS2320の場合、9番ピンをRICA力にするかVOC6V電源供給) (cするかを選択できます。デジンADM)をIPS3220Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCOを選択してください。 #MB2PUEの会社 *70期間設定
リトライ 2 送信ウェイト 10 1ms) RI/VCC FRI C VOC RS232Cの場合。9番ピンをRI(入力)にするかVOC GOV電源供給) にするかを選択できます。デジル製作S232Cのイソレーションユニットを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定
送信ウェイト 10 10 10 RI/VCC FRI VCC RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCCGV電源供給) にするかを選択できます。デジタル製PS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期増設定
RI / VOC C RI C VOC RS2320の場合、9番ピンをRU(入力)にするかVOC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS2320アイソレーションユニッ トを使用する場合は、VOOを選択してください。 初期語文定
RS2320の場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCCGV軍源供給) にするかを選択できます。デジカル製RS2320アイソレーションユニットを使用する場合は、VCOを選択してください。 初期設定
トを使用する場合は、VCOを選択してください。 和課題の時代
1x66b/lagxe
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>
No. 機器名 設定 間接機器 abb

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

機器設定

🏂 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	DB1000シリーズ
シリーズを変更 認してください。	た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 🚊
	初期設定
	OK(0) キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、シフトキー、ダウンキーお よびアップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン / アップキーを押して「MODE7」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキー、またはシフトキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	СОМ
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARCTER	8BIT/NON/STOP1

3.4 設定例 4

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1 横要		接続機器変更
メーカー ((株)チノー	シリーズ 調節計 MODBUS SIO	ポート COM1
文字列データモード	<u>1 変更</u>	
通信設定		
通信方式	● RS232C ● RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	
データ長	C 7 C 8	
パリティ	● なし ● 偶数 ● 奇数	
ストップビット	€ 1 C 2	
フロー制御	● なし ● ER(DTR/CTS) ● XON/XOFF	
タイムアウト	3	
リトライ	2	
送信ウェイト	10 ::: (ms)	
RI / VCC	© RI © VCC	
RS232Cの場合、9番	キビンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
によるかではないとき	いてのででは、 、VCCを選択してください。 初期設定	
機器別設定		
接続可能台数 16	合 <u>機器を追加</u>	
No 機器名	設定	間接機器
1 PLC1		

重要

• 送信ウェイトは 5ms 以上に設定してください。

機器設定

💰 個別機器設計	Ê	×
PLC1		
シリーズ	DB2000シリーズ	•
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに使用されているアド	しスを再確
局番号	1 🚊	
		初期設定
	OK(<u>Q</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、シフトキー、ダウンキーお よびアップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン / アップキーを押して「MODE7」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキー、またはシフトキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	СОМ
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARCTER	8BIT/NON/STOP1

3.5 設定例 5

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)チノー シリーズ J調節計 MODBUS SIO	ж−⊦∣сом1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 9600 🔽	
データ長 C7 ©8	
パリティ 🔍 なし 🔍 偶数 🔍 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 💿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
リトライ 2 芸	
送信ウェイト 10 💼 (ms)	
RI/VCC CRI CVCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル制(PS222Cアイ)ルーションコニッ	
トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 機器を追加	
No. 機器名 設定	間接機器
▼ 1 PLC1	

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

機器設定

🌮 個別機器設定		×
PLC1		
シリーズ	DB2000シリーズ	-
シリーズを変更し 認してください。	た場合は、すでに使用されているアドレスを再確	Ĩ
局番号	1 🗮	
	初期設定	
	OK((の) キャンセル	

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、シフトキー、ダウンキーお よびアップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン / アップキーを押して「MODE7」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキー、またはシフトキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	СОМ
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARCTER	8BIT/NON/STOP1

3.6 設定例 6

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接待機器1	
	接結機器亦面
メーカー (株)チノー シリーズ (開始計 MODBUS STO	#
通信設定	
通信方式	
通信速度 9600 🔽	
データ長 〇 7 ⑥ 8	
パリティ	
ストップビット ・1 ・2	
フロー制御	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
リトライ 2 🗮	
送信ウェイト 10 🗮 (ms)	
R17 V00 (10 N1 (10 V00) R5232Cの場合 9番ピッ友R1(入力)にするかい(CCの)(壷源供給)	
にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してきます。	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
▼ 1 PLC1 III シリーズ=DB2000シリーズ,局番号=1	

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	5ms 以上
1:n	10ms 以上

機器設定

🏂 個別機器設定	E X
PLC1	
シリーズ	DB2000シリーズ
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1
	初期服役定
	OK(Q) キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、シフトキー、ダウンキーお よびアップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン / アップキーを押して「MODE7」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキー、またはシフトキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	СОМ
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARCTER	8BIT/NON/STOP1

3.7 設定例 7

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

14/4-10(50)	
接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)チノー シリーズ 調節計 MODBUS SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C 〇 RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 💌	
データ長 〇 7 〇 8	
パリティ 💿 なし 💿 偶数 💿 奇数	
ストップビット 🔍 1 🔿 2	
7ロー制御 の なし の ER(DTR/CTS)の XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
リトライ 2 <u>-</u>	
送信ウェイト 10 🚊 (ms)	
にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ	
トを使用する場合は、VCCを選択してくたさい。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No. 機器名	追加
▲ 1 PLC1 1 シリーズ=KP1000シリーズ、局番号=1	¢

重要

• 送信ウェイトは 5ms 以上に設定してください。

機器設定

💣 個別機器設	έ.	×
PLC1		
シリーズ	KP1000シリーズ	•
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに使用されているアドレスを	ē再確
局番号	1	
	2刀其	設定
	OK(<u>0</u>) +++>-	セル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよび アップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン / アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	СОМ
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARCTER	8BIT/NON/STOP1

3.8 設定例 8

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 「(株)チノー シリーズ 調節計 MODBUS SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C © RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 🔹	
データ長 〇7 ⑥8	
パリティ 💿 なし 💿 偶数 🔹 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 の なし の ER(DTR/CTS)の XON/XOFF	
ቃイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 10 📑 (ms)	
RI/VCC CRI CVCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 機器を追加	
No 機器名 翻定	間接機器
■ 1 PLC1 ■ ジルーズ=KP1000シリーズ、局番号=1	

重要

• 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	KP1000シリーズ
シリーズを変更 認してください。	た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 芸
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよび アップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン / アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	СОМ
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARCTER	8BIT/NON/STOP1

3.9 設定例 9

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1 概要 接続機器変更 メーカー (俳)チノー シリーズ 調節計 MODBUS SIO ポート COM1 文字列データモード 1 変更 通信設定 通信方式 ○ RS232C ○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式) 通信速度 9600 マ
概要 接続機器変更 メーカー (株)チノー シリーズ 開節計 MODBUS SIO ポート COM1 文字列データモード 1 変更 通信設定 通信方式 ○ RS2320 ○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式) 通信速度 9600 ▼
メーカー (排)チノー シリーズ 調節計 MODBUS SIO ポート COM1 文字列データモード 1 変更 通信設定 通信方式 ○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式) 通信速度 9600 ▼ データ트 ○ 7 ● 8
文字列データモード 1 変更 通信設定 通信方式 ○ RS232C ○ RS422/485(2線式) ◎ RS422/485(4線式) 通信速度 9600 マ データー ○ 7 ○ 8
通信設定 通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式) 通信速度 9600 ▼ データ트 C 7 C 8
通信設定 通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) © RS422/485(4線式) 通信速度 9600 マ データー C 7 C 8
通信方式 CRS232C CRS422/485(2線式) · RS422/485(4線式) 通信速度 9600 マ データー C 7 C 8
通信速度 9600 - データー C 7 C 8
<i>≓</i> _bE C 7 C 8
J 742 01 00
パリティ 🔍 なし 🔍 偶数 🔍 奇数
ストップビット 💿 1 💿 2
フロー制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF
タイムアウト 3 芸 (sec)
UF51 2 🚊
送信ウェイト 10 <u>二</u> (ms)
RI/VCC CRI CVCC
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVOC(6V電源供給)
にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。
接続可能告知 16台 機器を加加
間接機器 No.機器名 設定 追加
I PLC1 III シリーズ=KP1000シリーズ、局番号=1

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

機器設定

🏂 個別機器設定			×
PLC1			
シリーズ	KP1000シリー	·ズ	•
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに使	用されてい	るアドレスを再確
局番号	1 🗄	1	
			初期設定
	0	K(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよび アップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン / アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	СОМ
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARCTER	8BIT/NON/STOP1

3.10 設定例 10

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1 📗 概要				接続機器変更
メーカー (株)チノー		シリーズ	調節計 MODBUS SIO	#−ト <mark>Сом1</mark>
文字列データモード	1 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	RS232C	C RS422/4850	2線式) 〇 RS422/485(4線式)
通信速度	9600	•		
データ長	C 7	© 8		
パリティ	● なし	○ 偶数	C 奇数	
ストップビット	● 1	02		
フロー制御	● なし	C ER(DTR/CT	S) C XON/XOFF	
タイムアウト	3 🗄	(sec)		
リトライ	2 :			
送信ウェイト	10 🔅	(ms)		
RI / VCC	⊙ RI	C VCC		
RS232Cの場合、! にするかを選択で!	9番ピンをRI(入力) きます。デジタル製	にするか VCC (5 V電) RS232C アイソレーシ	原供給) ヨンユニッ	
トを使用する場合	は、VCCを選択し	てください。	补刀其 捐受定	Ĕ
機器別設定				
接続可能台数	16台 機	器を追加		
No 推理之	設定			間接機器
	axte	⊐"=KB20002 JU ⊐" E	르-#-모1	近期
		ス=KF2000ソリース,7	9曲方=1	*

重要

• 送信ウェイトは 5ms 以上に設定してください。

機器設定

💰 個別機器設定	Ē	X
PLC1		
シリーズ	KP2000シリーズ	•
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに使用されている	5アドレスを再確
局番号	1 🚍	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよび アップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン / アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	СОМ
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARCTER	8BIT/NON/STOP1

3.11 設定例 11

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー (株)チノー シリ・	ーズ 調節計 MODBUS SIO ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C @ RS422/	(485(2線式) C RS422/485(4線式)
通信速度 9600 💌	
データ長 🖸 7 💿 8	
パリティ 💿 なし 🔿 偶数	○ 奇数
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 💿 なし 🔿 ER(DTF	VCTS) C XON/XOFF
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 芸	
送信ウェイト 10 芸 (ms)	
RI/VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)
にするがを選択してよう。デンタル設れる2320パイント トを使用する場合は、VCCを選択してください。	シーションユニッ 初期設定
·····································	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
い。 推発を 静宁	間接機器
1 PIC1 1 PIC	- ズ 局番号=1
	×298 9 −1

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

機器設定

🌮 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	KP2000シリーズ
シリーズを変更した場 認してください。	合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 芸
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよび アップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン / アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	СОМ
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARCTER	8BIT/NON/STOP1

3.12 設定例 12

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
- 概要	接続機器変更
メーカー (株)チノー ジリーズ 調節計 MODBUS SIO	「ポート <mark> COM1</mark>
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) @ RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 🔽	
データ長 〇 7 ⑥ 8	
パリティ 🔍 なし 🔍 偶数 🔍 奇数	
ストップピット	
フロー制御 💿 なし O ER(DTR/CTS) O XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 芸	
送信ウェイト 10 📑 (ms)	
RI/VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジカル制PS222Cアインル、ジャンコニッ	
トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 機器を追加	
No 掷器名 副完	間接機器
■ Number 2 ■ Number	
	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •

重要

• 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

機器設定

💰 個別機器設定		×
PLC1		
シリーズ	KP2000シリーズ	•
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに使用されているフ	アドレスを再確
局番号	1 芸	
		初期設定
	OK(Q)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよび アップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン / アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	СОМ
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARCTER	8BIT/NON/STOP1

3.13 設定例 13

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
微要	<u> </u>
メーカー (株)チノー シリーズ 調節計 MODBUS SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 © RS232C © RS422/485(2線式) © RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 🔽	
データ長 C7 C8	
パリティ	
ストップビット 🔍 1 🔿 2	
フロー制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🗮	
送信ウェイト 10 🚊 (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。 20世間会会	
18664の1882年 接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No. 機器名 設定	追加
▲ 1 JPLC1 1 JPUーズ=KP3000シリーズ、局番号=1	



送信ウェイトは 5ms 以上に設定してください。

機器設定

🏄 個別機器設計	ŧ.	×
PLC1		
シリーズ	KP3000シリーズ	•
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに使用されているアドレス	を再確
局番号	1 =	
	20月	服定
	OK(()) キャン	セル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよび アップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン / アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	СОМ
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARCTER	8BIT/NON/STOP1

3.14 設定例 14

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー ((株)チノー	シリーズ 調節計 M	MODBUS SIO	ポート СОМ1
文字列データモード 1	· <u>変更</u>		
通信設定			
通信方式 〇	RS232C ● RS422/485(2線式)	C RS422/485(4線式)	
通信速度 90	600 💌		
データ長 C	7 💿 8		
パリティ 💿	なし 〇 偶数 〇	奇数	
ストップビット 💿	1 0 2		
フロー制御 📀	なし C ER(DTR/CTS) C	XON/XOFF	
タイムアウト 3	: (sec)		
リトライ 2	· ·		
送信ウェイト 10) 🕂 (ms)		
RI / VCC @	RI C VCC		
RS232Cの場合、9番ビ にする <u>か</u> を選択できます。	ッをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) 、デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ		
トを使用する場合は、V	CCを選択してくたさい。	初期設定	
機器別設定			
接続可能台数 16台	<u>機器を追加</u>		
No. 機器名	設定		間接機器
👗 1 PLC1	●リーズ=KP3000シリーズ,局番号=1		

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値	
1:1	5ms 以上	
1 : n	10ms 以上	

機器設定

🌮 個別機器設定		×
PLC1		
シリーズ	KP3000シリーズ	•
シリーズを変更した地 認してください。	易合は、すでに使用されてい	るアドレスを再確
局番号	1 🗄	
		初期設定
	OK(Q)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよび アップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン / アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	СОМ
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARCTER	8BIT/NON/STOP1
3.15 設定例 15

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 【(株)チノー ジリーズ 調節計 MODBUS SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 9600 💌	
データ長 〇 7 〇 8	
パリティ	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 💿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🗮	
送信ウェイト 10 <u>-</u> (ms)	
RI/VCC © RI C VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVOC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 柳碧夕 - 静宁	間接機器
NV. 1次66-4日 高沢上 「VII」1 PIC1 「ATA」を用して、ドドア3000を用して、日本日二1	2577
	~

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

機器設定

🌮 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	KP3000シリーズ
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよび アップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン / アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	СОМ
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARCTER	8BIT/NON/STOP1

3.16 設定例 16

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)チノー	シリーズ 調節計 MODBUS SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更		
通信設定		
通信方式 C RS232C	● RS422/485(2線式)	
通信速度 9600	•	
データ長 C 7		
パリティ 💿 なし	○ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット 💿 1	C 2	
フロー制御 🏾 💿 なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 🛛 📑 ၆	ec)	
リトライ 2 芸		
送信ウェイト 20 🕂 (m	ns)	
RI/VCC © RI	C VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)(ご	するか VCC (5 V電源供給)	
にするかを選択してきます。テンダル要応 トを使用する場合は、VCCを選択してく	2320 パイ サレーションユニザ (ださい。 初期設定	
接続可能台数 16台 機器を	<u>标合的</u>	
No 继程之 ···································		間接機器
	= T230シリーズ 局番号=1	垣川
	21200000 74200 840 1	~

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	20ms 以上
1 : n	65ms 以上

機器設定

🌮 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	LT230シリーズ
シリーズを変更した場合 認してください。	合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 💼
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の SEL/ENT キー、DOWN キーおよび UP キーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- **1** SEL/ENT キーを 2 秒間押します。
- 2 UP キーを押して「モード7」に移行します。
- 3 SEL/ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 DOWN/UP キーを押して設定値を選択し、SEL/ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
FUnC	Com
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	5

3.17 設定例 17

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)チノー シリーズ 調節計 MODBUS SIO	ж−ト <mark>сом1</mark>
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 9600 🔽	
データ長 🖸 7 💿 8	
パリティ 💿 なし 🔿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット ・1 ・2	
フロー制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 20 <u>:</u> (ms)	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5)(電源供給)	
し、するかを増れてきます。テンダル製作32320アイソレーションユニットを使用する場合は、VCOを選択してください。 初期指数定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
14、 1855々 - 「設合	間接機器
NUL 1版68-C まれと 又 1 PIC1	25加
	V

重要

• 送信ウェイトは 20ms 以上に設定してください。

機器設定

💣 個別機器設	Ē	×
PLC1		
シリーズ	LT300シリーズ	•
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに使用されているアドレ	スを再確
局番号	1 🗮	
		初期設定
	OK(<u>0</u>) ≠	ャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL/ENT キー、DOWN キーおよび UP キーで設定 します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 UP キーを押して「モード7」に移行します。
- 3 SEL/ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 DOWN/UP キーを押して設定値を選択し、SEL/ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
FUnC	Com
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	5

3.18 設定例 18

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー「(株)チノー ジリーズ 調節計 MODBUS SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 9600 💌	
データ長 〇 7 ⑥ 8	
パリティ 🔍 なし 🔍 偶数 🔍 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 💿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🚊	
送信ウェイト 20 芸 (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(人力)にするかVCC(5V軍源供給)	
にするかを選択できます。テンダル製品232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCOを選択してください。 初期職会定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
NO.1版研始 認定 U 1 DIC1 版。 にルロデーIT20002ルロデ 日番号-1	追加
	~

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	20ms 以上
1 : n	65ms 以上

機器設定

🌮 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	LT300シリーズ
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 🚊
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL/ENT キー、DOWN キーおよび UP キーで設定 します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 UP キーを押して「モード7」に移行します。
- 3 SEL/ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 DOWN/UP キーを押して設定値を選択し、SEL/ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
FUnC	Com
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	5

3.19 設定例 19

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

按结继咒1	
10072-10010 ·	拉纳提思杰西
	м-кјсомт
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 9600 🔻	
データ長 C7 C8	
パリティ • なし • 偶数 • 奇数	
ストップビット	
フロー制御 の なし の ER(DTR/CTS)の XON/XOFF	
タイムアウト 3 🔆 (sec)	
JF∋1 2 🗮	
送信ウェイト 20 🕂 (ms)	
RI/ VOO 10 RI 10 VOO RS2220の根本 0番P:大田(ふ古)にするかい(のの広)(季源(供給)	
にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ したた田士を見合け、レベロを認知して大学な	
「それないののを達かしてんとい。	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 禅器名 醉完	間接機器
	S

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	20ms 以上
1 : n	65ms 以上

機器設定

🌮 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	LT300シリーズ
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 🚊
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL/ENT キー、DOWN キーおよび UP キーで設定 します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 UP キーを押して「モード7」に移行します。
- 3 SEL/ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 DOWN/UP キーを押して設定値を選択し、SEL/ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
FUnC	Com
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	5

3.20 設定例 20

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)チノー シリーズ (調節計 MODBUS SIO	ポート COM1
文字列データモード「1 変更	
通信設定	
通信方式 ⓒ RS232C ⓒ RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 🔽	
データ長 🔿 7 💿 8	
パリティ	
ストップビット ・1 ・2	
フロー制御	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
<u> ሀኑ</u> ታብ 2 🚊	
送信ウェイト 10 🚊 (ms)	
RS2320の場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを増択できます。テンタル製RS222Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VOCを選択してください。	
接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No. 機器名 該定	追加
I INDO INT	\$

重要

• 送信ウェイトは 5ms 以上に設定してください。

機器設定

💣 個別機器設計	Ē	X
PLC1		
シリーズ	LT400シリーズ	_
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに使用されているフ	ドレスを再確
局番号	1	
		初期設定
	OK(<u>Q</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL/ENT キー、DOWN キーおよび UP キーで設定 します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 UP キーを押して「モード7」に移行します。
- 3 SEL/ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 DOWN/UP キーを押して設定値を選択し、SEL/ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PrtCL	rtU
FUnC	Com
AdrS	1
rAtE	9600
CHArA	8n1

3.21 設定例 21

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)チノー ジリーズ 調節計 MODBUS SIO	#−ト[СОМ1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C © RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 🔽	
データ長 C7 C8	
パリティ 🔍 なし 🔍 偶数 🔍 奇数	
ストップビット 🔍 1 🔍 2	
フロー制御 💿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 10 🚊 (ms)	
RI/VCC © RI OVCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(人力)にするかVCC(5)で電源供給)	
トを使用する場合は、VGCを選択してください。 初期職定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 機器を追加	
No 继程名 副宁	間接機器
190.1版88-CD BRAE 1 PIC1 - アニーT4005ルーズ、局番号ニ1	25川
	V

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

機器設定

🏂 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	LT400シリーズ
シリーズを変更し 認してください。	た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 🚞
	初期設定
	OK((の) キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL/ENT キー、DOWN キーおよび UP キーで設定 します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 UP キーを押して「モード7」に移行します。
- 3 SEL/ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 DOWN/UP キーを押して設定値を選択し、SEL/ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PrtCL	rtU
FUnC	Com
AdrS	1
rAtE	9600
CHArA	8n1

3.22 設定例 22

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)チノー シリーズ 調節計 MODBUS SIO	
文字列データモード 1 変更	
2回信該定 通信士士 ○ RS2220 ○ DS422/405/22自士) ④ DS422/405/42自士)	
)通信カリ、 C N32220 C N34227403(2)旅史() C N34227403(4)旅史()	
データ表 し / じゅう	
ハリティ ゆんし ○満致 ○奇致	
フロー制御 ● なし O ER(DTR/CTS/ O XON/XOFF	
タイムアウト 3 <u>芸</u> (sec)	
リトライ 2 芸	
送信ウェイト 10 📑 (ms)	
RI/VCC © RI O VOG	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(人力)にするかVCC(5V電源供給)	
したするかを進択できます。テジタル製FS282Cアイソレージョンユニットを使用する場合は、VCOを選択してください。	1
1版60/0/18×4年 接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
No. 機器名	追加
▲ 1 PLC1 シリーズ=LT400シリーズ局番号=1	\$

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

機器設定

🌮 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	LT400シリーズ
シリーズを変更した場合 認してください。	合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 💼
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL/ENT キー、DOWN キーおよび UP キーで設定 します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 UP キーを押して「モード7」に移行します。
- 3 SEL/ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 DOWN/UP キーを押して設定値を選択し、SEL/ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PrtCL	rtU
FUnC	Com
AdrS	1
rAtE	9600
CHArA	8n1

3.23 設定例 23

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)チノー シリーズ 調節計 MODBUS SIO	ポート СОМ1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 O RS232C O RS422/485(2線式) O RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 💌	
データ長 C7 ©8	
パリティ 💿 なし 🔹 偶数 🔍 奇数	
ストップピット ● 1 ● 2	
フロー制御 💿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 芸	
送信ウェイト 20 📑 (ms)	
RI/VCC CRI CVCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(人力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするがを達取してなます。チンダル製品222Cアイクレージョンユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定	1
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
	間接機器
■ BXAC ■ 1 PIC1 ■ R/Uーズ"=1 T8305/Uーズ"局番号=1	
	~

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	20ms 以上
1 : n	65ms 以上

機器設定

🌮 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	LT830シリーズ
シリーズを変更した場 認してください。	合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 🚊
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の、SEL/ENT キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- **1** SEL/ENT キーを 2 秒間押します。
- 2 アップキーを押して「モード 6」に移行します。
- 3 SEL/ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキーを押して設定値を選択し、SEL/ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
FUnC	Com
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	8n1

3.24 設定例 24

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (休)チノー ジリーズ 調節計 MODBUS SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
補給設定	
通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 💌	
データ長 〇 7 ⑥ 8	
パリティ	
ストップビット ・1 ・2	
フロー制御 💿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🚊	
送信ウェイト 10 🔆 (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするか VCC(5) V電源(供給)	
にするかを選択できます。テンタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCOを選択してください。	
接続可能台数 16台 機器を追加	
د. جري 1// 190 مريد الم	間接機器
NO. 燃菇石 設定	追加
	~

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

機器設定

💕 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	調節機能付きJUシリーズ ▼
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 🗄
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のロータリスイッチとディップスイッチで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

• 本体ロータリスイッチ (SW1)

ロータリスイッチ	設定値
SW1	1

• 本体ディップスイッチ(SW2)

ディップスイッチ	設定値
SW1	OFF
SW2	OFF
SW3	OFF
SW4	OFF
SW5	OFF
SW6	OFF
SW7	OFF
SW8	OFF

3.25 設定例 25

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1				
概要				
メーカー ((株)チノ・	-	シリーズ	調節計 MODBUS SIO	ポート COM1
文字列データモー	ド 🚺 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	C RS232C	RS422/485	2線式) C RS422/485(4線式	Ø
通信速度	9600	•		
データ長	C 7	© 8		
パリティ	⊙ なし	○ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	● 1	C 2		
フロー制御	● なし	C ER(DTR/CT	S) C XON/XOFF	
タイムアウト	3 .	(sec)		
リトライ	2 .			
送信ウェイト	10 🔆	(ms)		
RI / VCC	© RI	C VCC		
RS232Cの場合、	9番ピンをRI(入力)にするか VCC (5V電	源供給)	
にするかを選択(ごさます。テジタル製 合は、VCCを選択し	RS2320アイソレーシ てください。	'ヨンユニッ ネガ茸用目 骨'	a l
機器別設定				<u> </u>
接続可能台数	16台 機	器を追加		
	= 0			間接機器
No. 機器名				追加
M IPLC1	129°	ス=単相コロジリース。	同番方ヨ	*

重要

• 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	単相JUシリーズ
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 芸
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、ENT キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 アップキーを押して「モード3」に移行します。
- 3 ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	8n1

3.26 設定例 26

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)チノー ジリーズ 調節計 MODBUS SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
\Z./==8	
通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) • RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 🔽	
データ長 C7 ©8	
パリティ	
ストップビット 🖸 1 🔿 2	
70-制御 💿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
UF54 2 🔆	
送信ウェイト 10 芸 (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。	
▲ ////////////////////////////////////	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
	*

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

機器設定

🏂 個別機器設定	E X
PLC1	
シリーズ	単相JUシリーズ
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1
	初期服役定
	OK(Q) キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、ENT キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 アップキーを押して「モード3」に移行します。
- 3 ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	8n1

3.27 設定例 27

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接待機器1	
	拉结鄉與亦面
文子列テータモード 「 変更	
通信設定	
通信方式 O RS232C O RS422/485(2線式) O RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 🔽	
データ長 〇7 ⑥8	
//リティ	
ストップビット 🔍 1 🔿 2	
フロー制御 © なし O ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 🔆 (sec)	
リトライ 2 🗮	
送信ウェイト 10 🛨 (ms)	
R3232200%は、9番目しておいくカルミタのかり000%り電気(共和7) にするかを選択できます。デジタル製化S232Cアイソレーションユニッ	
下を使用するが苦は、いしを選択していたでい。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
▼ 1 PLC1 FM シリーズ=JWシリーズ局番号=1	
	L -

重要

接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1:1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

機器設定

🏂 個別機器設定				×
PLC1				
シリーズ	JWS	リーズ		_
シリーズを変更し 認してください。	た場合は、	すでに使用さ	れている	アドレスを再確
局番号	1			
				初期設定
		OK(<u>O</u>)		キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、ENT キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 アップキーを押して「モード3」に移行します。
- 3 ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	8n1

3.28 設定例 28

GP-ProEX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)チノー シリーズ (調節計 MODBUS SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 9600 🔽	
データ長 C7 C8	
パリティ	
ストップビット 🔍 1 🔿 2	
70-制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
UF54 2 🗮	
送信ウェイト 10 🚊 (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(八力)にするか VCC (5V 電源供給)	
にするがを選択できます。テンタル製HS222Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCOを選択してください。	
接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
	追加
▲ 「PLC1 IIII」[シリース=JWシリーズ,局番号=1	\$

重要

• 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。 以下のように設定してください。

接続構成	設定値	
1:1	5ms 以上	
1 : n	10ms 以上	

機器設定

🌮 個別機器設定	1		×
PLC1			
シリーズ	JWシリーズ		•
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに住	使用されてい	るアドレスを再確
局番号	1	3	
			初期設定
		ок(<u>о</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、ENT キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 アップキーを押して「モード3」に移行します。
- 3 ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン / アップキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	8n1

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

4.1 GP-Pro EX での設定項目

通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 【休)チノー ジリーズ 調節計 MODBUS SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 · RS232C · RS422/485(2線式) · RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 💌	
データ長 C7 C8	
パリティ ●なし ○ 偶数 ● 奇数	
ストップビット 🖸 1 🔿 2	
フロー制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🚍	
送信ウェイト 10 🚍 (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC (5V電源供給)	
してするかを選択できます。テンタル製FS222Cアイソレージョンユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。	
#221時定	
接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
	追加
▶ 「FLOT 」」 アリース=DB10009リース,局番号=1	*

設定項目	設定内容	
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。	
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。	
データ長	データ長を表示します。	
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。	
ストップビット	ストップビット長を選択します。	
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御方式を選択します。	
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。	
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~ 255」で入力します。	
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。	

次のページに続きます。

設定項目	設定内容		
RI/VCC	通信方式で RS232C を選択した場合に、9 番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。		

MEMO	 間接機器については GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
	参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「運転中に接続機器を切り替えたい(間接 機器指定)」

機器設定

💣 個別機器設定	1	×
PLC1		
シリーズ	DB1000シリーズ	_
シリーズを変更 認してください。	した場合は、すでに使用されている	アドレスを再確
局番号	1 🚍	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

設定項目	設定内容		
シリーズ	接続機器のシリーズを選択します。		
局番号	接続機器の局番号を「1 ~ 99」で入力します。		

4.2 オフラインモードでの設定項目

MEMO ・ オフラインモードへの入り方や操作方法は保守 / トラブル解決ガイドを参照してく ださい。

参照:保守/トラブル解決ガイド「オフラインモードについて」

オフラインモードは使用する表示器によって1画面に表示できる設定項目数が異なります。詳細はリファレンスマニュアルを参照してください。

通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
調査行言十 MODBUS SIO			[COM1]	Page 1/1
	通信方式 通信速度 データ長 パリティ ストップビット フロー制御 タイムアウト(s) リトライ 送信ウェイト(me)	RS422/485() 9600 8 ・なし ・1 なし	2線式) (偶数 2 2 3 2 10 (本) 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5) 奇数]
	終了		戻る	2007/10/30 14:54:58

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。 重要 通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様を 確認し、正しく設定してください。 シリアルインターフェイスが対応していない通信方式を選択した場合の動作は保 証できません。 シリアルインターフェイスの仕様については表示器のマニュアルを参照してくだ さい。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を表示します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御方式を選択します。
タイムアウト(s)	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0 ~ 255」で入力します。
送信ウェイト (ms)	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間(ms) を「0~255」で入力します。

機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
調節計 MODBUS SIO			[COM1]	Page 1/1
接続機	器名 PLC	1		▼
	シリーズ _{中新} 中	DB1000シリー	-ズ	
	向留亏	ļ	1	
	終了		定ろ	2007/10/30
	42°.]		12.0	14:55:03

設定項目	設定内容		
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])		
シリーズ	接続機器のシリーズを表示します。		
局番号	接続機器の局番号を「1 ~ 99」で入力します。		

オプション

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[オプション]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
調節計 MODBUS SIO			[COM1]	Page 1/1
	DI / U00	- DI	- 000	
	RI / VCC RS232Cの場合、	● RI 9番ピンをRI(入力)にす	する	
	かVCC(5V電源供 す。デジタル製	は合)にするかを選択でき 果\$2320アイソレーショ	きま	
	ユニットを使用 てください。	する場合は、VCCを選	沢し	
	終了		戻る	2007/10/30 14:57:53

設定項目	設定内容
RI/VCC	通信方式で RS232C を選択した場合に、9 番ピンの設定を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

MEMO • GP-4100 シリーズの場合、オフラインモードに [オプション]の設定はありません。

5 結線図

以下に示す結線図と(株)チノーの推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線図で も動作上問題はありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。

結線図 1

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 (COM1) GP4000 ¹ (COM1)	1A	(株)チノー製 RS-232C 通信用ケーブル RZ-CRS6ロロ ³	
ST (COM1) LT (COM1) IPC ² PC/AT	1B	自作ケーブル	ケーブル長:15m 以内
GP-4105 (COM1)	1C	自作ケーブル	

1 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM および GP-4203T を除く全 GP4000 機種

2 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ☞「 IPC の COM ポートについて」(6ページ)

3 ロロはケーブル長を示します。



 接続機器により、通信で使用する端子番号が異なります。以下に各シリーズに対応 する端子番号を示します。

シリーズ	SD	RD	SG
DB1000	13	12	14
DB2000 (COM1)	27	26	28
DB2000 (COM2)	30	29	31
KP1000	13	12	14
KP2000 (COM1)	27	26	28
KP2000 (COM2)	30	29	31
KP3000 (COM1)	27	26	28
KP3000 (COM2)	30	29	31
LT300/400	11	13	15



1B)



1C)



結線図 2

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考	
GP3000 ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) LT (COM1) IPC ³	2A	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 		
	2B	目作ケーブル (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 RS-422 ケーブル CA3-CBL422-01 + 自作ケーブル		
	2C	(株)デジタル製 RS-422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01 + 自作ケーブル		
	2D	自作ケーブル	ケーブル長:	
	2E	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	600m 以内	
GP3000 ⁴ (COM2)	2F	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル		
	2G	(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 RS-422 ケーブル CA3-CBL422-01 + 自作ケーブル		
GP-4106 (COM1)	2H	自作ケーブル		

次のページに続きます。
表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP4000 ⁵ (COM2) GP-4201T (COM1)	21	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ⁶ + 自作ケーブル	
	2B	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 RS-422 ケーブル CA3-CBL422-01 + 自作ケーブル	ケーブル長: 600m 以内
	2C	(株)デジタル製 RS-422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01 + 自作ケーブル	
	2D	自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^(分)「 IPC の COM ポートについて」(6ページ)

- 4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- 5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- 6 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、2A の結線図を参照してください。



 接続機器のシリーズにより、通信で使用する端子番号が異なります。以下に各シ リーズに対応する端子番号を示します。

シリーズ	SDA	SDB	RDA	RDB	SG
DB1000	14	15	12	13	16
DB2000 (COM1)	28	29	26	27	30
DB2000 (COM2)	31	32	29	30	28
KP1000	14	15	12	13	16
KP2000 (COM1)	28	29	26	27	30
KP2000 (COM2)	31	32	29	30	28
KP3000 (COM1)	28	29	26	27	30
KP3000 (COM2)	31	32	29	30	28
LT300/400	11	12	13	14	15
単相 JU	1	2	3	4	5
WL	1	2	3	4	5

2A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



2B)

1:1 接続の場合





2C)

1:1 接続の場合





2D)

1:1 接続の場合





2E)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



2F)

1:1 接続の場合





2G)

1:1 接続の場合





2H)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

2I)

1:1 接続の場合



表示器側

自作ケーブル

• 1:n 接続の場合



結線図 3

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2)		(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	3A	、 (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	
LT (COM1)		+ 自作ケーブル	
	3B	自作ケーブル	
		(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	
	3C	、 (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	
GP3000 ³ (COM2)		+ 自作ケーブル	
	3D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	
		・ 自作ケーブル	ケーブル長:
IPC ⁴	3E	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	600m 以内
		・ (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	
		+ 自作ケーブル	
	3F	自作ケーブル	
GP-4106 (COM1)	3G	自作ケーブル	
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ⁵ (COM2) GP-4203T (COM1)	3H	自作ケーブル	
GP4000 ⁶ (COM2) GP-4201T (COM1)	31	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ⁷ +	
		自作ケーブル	
	3B	自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

- 2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種
- 3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- 4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^⑦「 IPC の COM ポートについて」(6ページ)
- 5 GP-4203T を除く
- 6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

7 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、3A の結線図を参照してください。

重	要

 接続機器のシリーズにより、通信で使用する端子番号が異なります。以下に各シ リーズに対応する端子番号を示します。

シリーズ	SA	SB	SG
DB1000	12	13	14
DB2000 (COM1)	26	27	28
DB2000 (COM2)	29	30	31
KP1000	12	13	14
KP2000 (COM1)	26	27	28
KP2000 (COM2)	29	30	31
KP3000 (COM1)	26	27	28
KP3000 (COM2)	29	30	31
LT230	6	7	8
LT300/400	11	12	15
LT830	6	7	8

3A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



3B)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



3C)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

3D)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



3E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



3F)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



3G)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

3H)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合





• GP-4107 の COM では SG と FG が絶縁されています。

3I)

1:1 接続の場合





結線図 4

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) LT (COM1)	4A	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	4B	自作ケーブル	
GP3000 ³ (COM2)	4C	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	4D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	ケーブル長:
IPC ⁴	4E	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	600m 以内
	4F	目作ケーブル	
GP-4106 (COM1)	4G	自作ケーブル	
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ⁵ (COM2) GP-4203T (COM1)	4H	自作ケーブル	
GP4000 ⁶ (COM2) GP-4201T (COM1)	4I	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ⁷ + 自作ケーブル	
	4B	自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

- 2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種
- 3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- 4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^⑦「 IPC の COM ポートについて」(6ページ)
- 5 GP-4203T を除く
- 6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

7 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、4A の結線図を参照してください。

4A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合 •



自作ケーブル

4B)

1:1 接続の場合





4C)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



4D)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



4E)

1:1 接続の場合





4F)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



4G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

4H)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



- 要
 ・
 表示器の5V出力(6番ピン)はSiemens 製 PROFIBUS コネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。
- **MEMO** GP-4107 の COM では SG と FG が絶縁されています。

重

4I)

1:1 接続の場合





1:n 接続の場合



自作ケーブル

結線図 5

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) LT (COM1)	5A	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	5B	自作ケーブル	
GP3000 ³ (COM2)	5C	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	5D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	ケーブル長:600m 以 内 ただしマスターとス
IPC ⁴	5E	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	レーブの間は 10m 以 内
	5F	自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4107 (COM1) GP-4*03T ⁵ (COM2) GP-4203T (COM1)	5G 5H	自作ケーブル	
GP4000 ⁶ (COM2) GP-4201T (COM1)	5I 5B	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ⁷ 自作ケーブル 自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^⑦「 IPC の COM ポートについて」(6ページ)

5 GP-4203T を除く

6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

7 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、5A の結線図を参照してください。

5A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



重要

• スレーブ - スレーブ間は、上図のように 17 番、18 番を結線します。

5B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



重要

• スレーブ - スレーブ間は、上図のように 17番、18番を結線します。
5C)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



重要 (・ スレーブ - スレーブ間は、上図のように 17番、18番を結線します。

5D)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



重要

スレーブ - スレーブ間は、上図のように 17 番、18 番を結線します。

5E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



重要

• スレーブ - スレーブ間は、上図のように 17番、18番を結線します。

5F)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



重要

• スレーブ - スレーブ間は、上図のように 17番、18番を結線します。

5G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



- スレーブ スレーブ間は、上図のように 17 番、18 番を結線します。
- *1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

重要

5H)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



スレーブ - スレーブ間は、上図のように 17 番、18 番を結線します。
 表示器 の 5V 出力(6 番ピン)は Siemens 製 PROFIBUS コネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。

5I)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



重要

• スレーブ - スレーブ間は、上図のように 17 番、18 番を結線します。

6使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

接続機器のアドレスは以下のダイアログで入力します。



- 1. アドレス アドレスを入力します。
- 2. 参照 使用できるパラメータのリストが表示されます。
 使用するパラメータをクリックして「選択」を押すと、アドレスが 入力されます。

調節計のデータには小数点付きのものがあります。 表示器では小数点付きのデータを以下のように扱います。

<読出しの場合>

調節計からの読出しデータは小数点なしの整数にした値になります。

例)調節計の値が100.0であった場合

調節計の値:100.0 表示器で表示する値(小数点なしの設定):1000

データ表示器で小数点を表示する場合は「表示設定」タブの「小数点桁数」の設定で行います。 例えば、調節計のデータの仕様が小数点1桁目であれば「小数点桁数」を1とします。

例) 調節計の値が 100.0 であった場合

調節計の値:100.0 表示器で表示する値(小数点なしの設定):1000 表示器で表示する値(小数点1桁の設定):100.0

<書込みの場合 >

調節計の書込みの場合は設定する値を小数点なしの整数にします。

6.1 DB1000 シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
	00101			
ノノラル改定値	00111			
デジタル入力データ	10002 - 10124	-		1
アナログ入力データ	-	30101 - 30143	[H/L]	<u>ві</u> т 15 1
アナログ設定値	_	40001 - 40596 2		<u>ві t</u> 15]
運転状態設定	_	49056 - 49512		в i t 15]

1 書込み不可。

2 40151 は書込み不可。

MEMO
 ・ 調節計で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。
 読込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

- 参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専 用エリア)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

^{②デ}「表記のルール」

6.2 DB2000 シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
	00101			
テンタル設定値	00111	-		
デジタル入力データ	10002 - 10124	-		1
アナログ入力データ	-	30101 - 30143	[H / L]	<u>ві т15</u> 1
アナログ設定値	_	40001 - 40650 2		<u>ві</u> t15
運転状態設定	_	49056 - 49536		<u>віt</u> 15

1 書込み不可。

2 40151 は書込み不可。

 調節計で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。 MEMO 読込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してくだ さい。 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専

参照: GP-Pro EX リファレフスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専 用エリア)」

表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
 「表記のルール」

6.3 KP1000 シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル記字体	00101			
ノンツル設定値	00111			
デジタル入力データ	10002 - 10124	-		1
アナログ入力データ	-	30101 - 30144	[<u>H/L</u>]	<u>ві</u> т 15 1
アナログ設定値	_	40001 - 40650 2		<u>ві t</u> 15
パターン設定	-	49003 - 49534 3		в i t 15]

1 書込み不可。

2 40151 は書込み不可。

3 49040 は書込み不可。

MEMO

調節計で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。
 読込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
 「表記のルール」

6.4 KP2000 シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
	00101			
ノンツル設定値	00111			
デジタル入力データ	10002 - 10124	-		1
アナログ入力データ	-	30101 - 30144	[H/L]	<u>ві</u> т 15 1
アナログ設定値	_	40001 - 40650 2		<u>ві t</u> 15
パターン設定	-	49003 - 49536 ³		в i t 15]

1 書込み不可。

2 40151 は書込み不可。

3 49040 は書込み不可。

MEMO

調節計で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。
 読込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

- 参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専 用エリア)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
 「表記のルール」
- 6.5 KP3000 シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル入力データ	10005	-		1
アナログ入力データ	-	30109 - 30144	[H/L]	<u>ві т15</u> 1
アナログ設定値	_	40008 - 40574 2		<u>ві</u> t15
パターン設定		49003 - 49534 3		<u>ві</u> t15

1 書込み不可。

2 40151 は書込み不可。

3 49040 は書込み不可。

MEMO	•	調節計で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。
	•	読込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してくだ
		さい。

- 参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専 用エリア)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
 「表記のルール」

6.6 LT230 シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル設定値	00101	-		1
デジタル入力データ	10004 - 10120	-		2
アナログ入力データ	-	30101 - 30142		<u>ві</u> t 15 2
アナログ設定値	-	40008 ³ 40114 - 40119 40201 - 40251 49501 - 49512		ві 15 1

1 書込みを行う場合、接続機器のキーロックをロック4に設定する必要があります。ロック4以外で 書込みを行った場合、通信エラーが表示されます。

- 2 書込み不可。
- 3 40008 は書込み不可。

 ・ 調節計で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。
 読込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してくだ
 さい。
 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専
 用エリア)」
 ・表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
 ^{GP}「表記のルール」

6.7 LT300 シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル設定値	00101	-		1
デジタル入力データ	10004 - 10122	-		2
アナログ入力データ	-	30101 - 30142		<u>ві</u> t 15 2
アナログ設定値	-	40008 ³ 40114 - 40119 40201 - 40251 49501 - 49512		<u>ві t15</u> 1

1 書込みを行う場合、接続機器のキーロックをロック4に設定する必要があります。ロック4以外で 書込みを行った場合、通信エラーが表示されます。

- 2 書込み不可。
- 3 40008 は書込み不可。

 ・ 調節計で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。
 読込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してくだ
 さい。
 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専
 用エリア)」
 ・表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
 ^{GP}「表記のルール」

6.8 LT400 シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル設定値	00101 - 00109	-		1
デジタル入力データ	10002 - 10124	-		2
アナログ入力データ	-	30101 - 30142		<u>ві</u> t 15 2
アナログ設定値	-	40001 - 40093 40112 - 40166 40201 - 40388 49501 - 49512		

1 書込みを行う場合、接続機器のキーロックをロック4に設定する必要があります。ロック4以外で 書込みを行った場合、通信エラーが表示されます。

2 書込み不可。

MEMO ・調節計で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。 読込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してくだ さい。

> 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専 用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

^{②予}「表記のルール」

6.9 LT830 シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル設定値	00101	-		1
デジタル入力データ	10004 - 10120	-		2
アナログ入力データ	-	30101 - 30142		<u>ві</u> 15 2
アナログ設定値	-	40008 ³ 40114 - 40119 40201 - 40211 49501 - 49512		

1 書込みを行う場合、接続機器のキーロックをロック3に設定する必要があります。ロック3以外で 書込みを行った場合、通信エラーが表示されます。

- 2 書込み不可。
- 3 40008 は書込み不可。

MEMO
 ・ 調節計で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。
 読込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「塗」「表記のルール」

6.10 調節機能付き JU シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタルシウ体	00101 - 00106	_		1
ノンタル設定値	01102 - 01612 2	-		
ゴンクリンカゴーク	10002 - 10122			3
テンタル入JJテータ	11109 - 11614 ²	-		
		30101 - 30142		
アナログ入力データ	-	31101 - 31612 ²	[H/L]	Bitl ý 3
		39001 - 39080		-
		40001 - 40384		
アナログ設定値	_	41102 - 41672 2		<u>віt</u> 15
	-	48111 - 48618 ²		1
		49501 - 49525		

1 書込みを行う場合、接続機器のキーロックをロック4に設定する必要があります。ロック4以外で 書込みを行った場合、通信エラーが表示されます。

2 操作端機能(01102-01612) 操作端機能部(11109-11614) 操作端測定データ(31101-31612) 操作端パラメータ(41102-41672/48111-48618)については、アドレスを次の形式で指定します。

< 例 > エレベーション(41口03)



3 書込み不可。

 ・ 調節計で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。
 読込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してくだ
 さい。

- 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

^{②予}「表記のルール」

6.11 単相 JU シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル設定値	01001 - 01013	-		1
デジタル入力データ	11001 - 11015	-		2
アナログ入力データ	-	31101 - 31112	[H/L]	<u>ві</u> t 15 2
マナログ語字体		41001 - 41013		<u>ві t</u> 15
アプログ設定値	-	49501		1

1 書込みを行う場合、接続機器のキーロックをロック状態に設定する必要があります。アンロック状態で書込みを行った場合、通信エラーが表示されます。

2 書込み不可。

MEMO ・調節計で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。 読込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してくだ さい。

- 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専 用エリア)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「塗」「表記のルール」

6.12 JW シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル設定値	01001 - 01014	-		1
デジタル入力データ	11001 - 11019	-		2
アナログ入力データ	-	31101 - 31182	[H/L]	<u>ві</u> t 15 2
マナロガ記字体		41001 - 41018		<u>віt</u> 15
アノロン設圧値	_	49501		1

1 書込みを行う場合、接続機器のキーロックをロック状態に設定する必要があります。アンロック状態で書込みを行った場合、通信エラーが表示されます。

2 書込み不可。

МЕМО	 調節計で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。 読込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
	参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専 用エリア)」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	「『「表記のルール」

7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します。

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
アナログ入力データ	3	0001	ワードアドレス
アナログ設定値	4	0000	ワードアドレス

8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のよう に表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容
番号	エラー番号
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器 の名称です。(初期値 [PLC1])
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。
エラー発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。 MEMO • IP アドレスは「IP アドレス (10 進数):MAC アドレス (16 進数)」のように表示 されます。 • デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。 • 受信エラーコードは「10 進数[16 進数]」のように表示されます。

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード :2[02H])」

```
    MEMO

            受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
            ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守 / トラブル解決ガイド」の「表示器で表示されるエラー」を参照してください。
```

接続機器特有のエラーコード

接続機器特有のエラーコードは、以下のようになります。

エラーコード	内容
18(12H)	設定不可 ¹ • キー設定がロックされていないとき。 • 形式により選択できない項目を設定しようとしたとき。

1 設定不可となる原因は接続機器により異なります。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。